| | | | | | | | W112_901 |
|------------------------|---|--|---|--|----------------------------------|------------------|-----------|
| 科目名 | がん | 看護学実習Ⅲ | | 分野·必選別· 単位数 | 専門科目 (がん看護学) | 選択 | 3単位 |
| 担当教員 | ◎教授 南川雅子 | | | | | | |
| 課程 | 博士前期 | 配当年次 | 2年 | 配当学期 | 通年 | 授業方法 | 実験•実習 |
| 授業の概要 | がん看護専門看護 な看護実践能力を | 師としての役割や機能を 習得する。 | を発揮するため | に必要な知識、技 | 「術、態度について体 | 験的に学習し、専門 | 看護師としての高度 |
| 授業の 到達目標 | | 践、相談、教育、調整、 の評価に基づき、自己・ | | | | ついて評価できる。 | |
| 回数 | 担当者 | | | | | | |
| 授業計画 | ・相談:看護スタッフか・教育:受け持ち患者の・調整:受け持ち患者の・倫理的調整:受け持ち | 実習 ナ持ち、看護過程を展開 らコンサルテーションを の事例検討会またはが ののケアが円滑に提供。 と思考に限らず、病棟 と思表 との事がに関いる。 | 受ける機会を意 ん看護専門分野 されるために、[内で生じている | ないできる。理論 野に関連する勉強 医療チームの調整 倫理的葛藤の調整 | 会を開催し、看護スタ を行う。 を方法について考える | アッフに実践のモデル .。 | を提示する。 |
| 事前事後学修の内容および | 【事前学修】 | 実習目標達成に向 | | | | | |
| の内容および それに必要な 時間 | 【事後学修】 | | | | でに解決しておくこと。 | | |
| 数彩 李 | 【必要時間】 | 当該期間に45時間 | 以上の予復習 | が必要。 | | | |
| 教科書 | 随時紹介する。 | | | | | | |
| 参考書 | 随時紹介する。 | | | | | | |
| 成績評価の方法および基準 | 各役割のレポート80%(実践20%、相談20%、教育10%、調整10%、倫理的調整20%)、総合レポート20%により評価する。 | | | | | | |
| その他履修上の注意事項 | 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3およびDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。 | | | | | | |